

地域の実情と課題

誰もが性別等にかかわらず、社会のあらゆる分野に主体的に参画し、個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するためには、市民一人ひとりが多様な生き方を互いに認め合うことが重要である。

そのためには、子どもの頃から性別による固定的な役割分担にとらわれない意識や多様性を認め合う意識が育まれるよう、教育学習の場を設けることが必要である。

事業の特徴

アンコンシャスバイアスに関する見識、実績が豊富な団体に講師を依頼。授業を2回に分けて実施し、その間に自分や周りのアンコンシャスバイアスを見つけてもらう宿題を出す等、自分事として意識してもらうようにした。

また、子どもが無意識の思い込みを抱くようになる要因には、周囲の大人の発言が影響していることから、子どもに関わる大人の意識改革のため、指導的立場にある教員や保護者を対象としたアンコンシャスバイアスセミナーを実施した。

事業の効果

授業、セミナーを受けることで、無意識の思い込みに気づき、性別にとらわれない、多様な考え方への理解促進につながった。

授業に参加した児童・生徒からは、アンコンシャスバイアスを意識することで、周りの人だけでなく、自分自身も含めて、誰もが生きやすい社会をつくっていきたい等の感想があった。

セミナーの参加者アンケートでは、参加者全員が男女共同参画について理解が深まったと回答した。

目的・目標

性別に関する無意識の思い込みに気づくことで、性別にとらわれない多様な選択ができるよう、外部講師による、小中学生を対象とした授業を行う。

目標：参加校数 3校

実績：参加校数 3校

徳島市教育委員会及び各校の協力により、目標を達成できた。

連携団体

徳島市教育委員会

徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議

(構成団体)

徳島大学、四国大学、徳島文理大学、徳島商工会議所、徳島県中小企業団体中央会、一般社団法人 徳島経済同友会、徳島県中小企業家同友会、株式会社 阿波銀行、株式会社 徳島大正銀行、徳島市コミュニティ連絡協議会、社会福祉法人 徳島市社会福祉協議会、NPO法人 子育て支援ネットワークとくしま、徳島市婦人連絡協議会、阿波女あきんど塾、徳島市まちづくり協働プラザ、徳島県、徳島市

今後の課題

授業に関しては、学校の行事や授業との兼ね合いもあるため、より参加しやすい方法を模索する。

セミナーは、オンライン開催を2回行い、開催時間帯が異なるようにする等参加しやすい状況を整えたが、さらに多くの方に受けていただけるよう開催、周知方法を工夫したい。

事業の概要

●アンコンシャスバイアスセミナー

◆概要

子どもたちの可能性を広げるため、子どもたちにかかわる周囲の大人を対象にアンコンシャスバイアスに気づき、思いを巡らせるためのセミナーをオンラインにて実施。

◆メインターゲット

児童・生徒の保護者及び教職員

◆日時／参加者数

8月17日(木) 19:00～20:30 55人

8月18日(金) 13:30～15:00 46人

◆参加者の感想

- ・アンコンシャスバイアスをなくすのは難しいため、発言や行動に移す前に、今一度 考えることが大切だと感じた。
- ・親の思い込みが子どもの選択肢を減らしてしまうかもしれないということが印象に残った。
- ・日常の何気ない考えや発言にアンコンシャスバイアスが潜んでいると気づいた。



●アンコンシャスバイアス授業

◆概要

アンコンシャスバイアスを解消し、性別にとらわれない、多様な選択につなげることを目的に、小・中学生を対象とした授業を実施。

◆実施校／対象学年／実施日

八万中学校 3年生(6クラス) 令和5年9月19日(火)・9月26日(火)

富田中学校 1年生(4クラス) 令和5年12月1日(金)・12月8日(金)

富田小学校 6年生(1クラス) 令和5年11月1日(水)

◆児童・生徒の感想

- ・アンコンシャスバイアスを意識することで、物事に対して多様な視点を持ち、他者を尊重できるようになった。
- ・自分自身へのマイナスのアンコンシャスバイアスを見直し、可能性を信じてチャレンジできるようになった。
- ・普段から意識するようになったことで、友人とアンコンシャスバイアスについて話す機会が増え、決めつけによる発言が減ってきた。
- ・自分と他者の考え方は違うということに気づき、自分らしさを大切にしたいと思った。